

(3) 中学校教諭等の全出願区分(全ての枠及び全ての特別選考を含む。)のうち、数学、理科、英語、保健体育に出願する場合は、電子申請の「小学校専科への配置可否」欄に、小学校の専科教員としての配置の可否を入力できる。可と入力し、第2次試験の結果、採用候補者となった者は、初任配置校が小学校となる場合がある。なお、配置可否の内容は可否に影響しない。

### 13 その他

- (1) 採用候補者名簿に登録されても、次のいずれかに該当する場合には、採用候補者名簿から抹消する。
  - (7) 令和6年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の受験資格を欠いていることが判明した場合
  - (4) 教員としてふさわしくない事実が判明した場合
  - (9) 令和6年4月1日時点で、所有している教諭普通免許状が失効している場合
  - (1) 大学院修学継続、若しくは教職大学院進学による採用延長 (13(4)(5)に示す。)を認められた者が、採用延長期間終了までに修学中の大学院(教職大学院)を修了しなかった場合
- (2) 日本国籍を有しない者を採用する場合には、任用の期限を付さない常勤の講師とする。
- (3) 採用候補者名簿の登録の有効期間は、令和7年3月31日までとする。
- (4) 令和6年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者で、大学院において修学中の者が、引き続き大学院での修学を希望する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、各大学院の修業年限に合わせて、修了までの1年間又は2年間延長する。
- (5) 令和6年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者が、教職大学院へ進学する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、各教職大学院の修業年限に合わせて、2年間又は3年間延長する。
- (6) 補欠として決定され、令和6年3月31日までに、採用候補者名簿に登録されなかった者は、令和6年4月1日から、岡山県の公立学校で常勤講師等として優先的に任用する。
- (7) 他の都道府県の公立学校教員で、本県への転入を希望する者も、この実施要項により受験するものとする (74[E2]参照)。
- (8) 身体等の事情により、受験に際して配慮を必要とする場合には、電子申請の該当項目にその旨を記入すること。
- (9) 第2次試験の受験資格を得た者は、最終卒業・修了(見込)学校の成績証明書を提出する。(提出先、提出期間等詳細については、第1次試験の結果通知とともに連絡する。)
- (10) 服装については、第1次試験、第2次試験とも、クールビズ(上着、ネクタイ等を着用する必要はない。)とする。
- (11) 諸般の事情により、やむを得ず試験日程等を変更する場合は、岡山県教育庁教職員課のホームページで知らせる。

<表1>

対象		ワカガ 英語検定	実用英語 技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/S&W
出願要件	小学校教諭等(英語枠)	140以上	2級以上	960以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
	特別選考A①・D⑤	180以上	1級	1350以上	7.0以上	375以上	800	95以上	1845以上
加点	英語の資格による加点	160以上	準1級以上	1190以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1560以上
選考に当たって 考慮する事項	小学校教諭等	140以上	2級以上	960以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
	高等学校教諭等(数学・理科)	160以上	準1級以上	1190以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1560以上

※TOEIC L&R/S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで基準を満たすこと。

また、公開テストによるスコアのみを対象とする。

※有効期限がある認定書等は出願の時点で有効であること。有効期限が過ぎたものは不可とする。

### 電子申請・書類作成上の参考

#### ■ 電子申請入力上の参考

##### 1 「最終学歴」の国立大学 教員養成課程について

###### 参考：国立の教員養成系教育学部

北海道教育大学教育学部 弘前大学教育学部 岩手大学教育学部 宮城教育大学教育学部  
 秋田大学教育文化学部(教育学部) 山形大学教育学部 福島大学教育学部 茨城大学教育学部 宇都宮大学教育学部  
 群馬大学教育学部 埼玉大学教育学部 千葉大学教育学部 東京学芸大学教育学部  
 横浜国立大学教育学部(教育人間科学部) 新潟大学教育学部(教育人間科学部) 上越教育大学学校教育学部  
 富山大学教育学部 金沢大学人間社会学域学校教育学類(教育学部) 福井大学教育学部(教育地域科学部)  
 山梨大学教育学部(教育人間科学部) 信州大学教育学部 岐阜大学教育学部 静岡大学教育学部  
 愛知教育大学教育学部 三重大学教育学部 滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部  
 兵庫教育大学学校教育学部 神戸大学教育学部 奈良教育大学教育学部 和歌山大学教育学部  
 鳥取大学教育地域科学部(教育学部) 島根大学教育学部 岡山大学教育学部 広島大学教育学部(学校教育学部)  
 山口大学教育学部 鳴門教育大学学校教育学部 徳島大学教育学部 香川大学教育学部 愛媛大学教育学部  
 高知大学教育学部 福岡教育大学教育学部 佐賀大学教育学部(文化教育学部) 長崎大学教育学部  
 熊本大学教育学部 大分大学教育学部(教育福祉科学部) 宮崎大学教育学部(教育文化学部) 鹿児島大学教育学部  
 琉球大学教育学部

## 2 「所有（取得見込）免許状」について

所有又は取得見込の免許状について全て入力すること。

※「免許状1」に受験に必要な主たる免許状を入力する。ただし、以下の者については、「免許状2」にも次のことを必ず入力すること。

・小学校教諭等（理数枠）出願者	中学校理科、高等学校理科、中学校数学又は高等学校数学のいずれかの免許状
・小学校教諭等（英語枠）出願者のうち、中学校英語又は高等学校英語の免許状所有者	いずれかの免許状
・高等学校教諭等（地理歴史）出願者	高等学校公民の免許状
・高等学校教諭等（公民）出願者	高等学校地理歴史の免許状
・中・高を併願する出願者	第2志望の受験に必要な主たる免許状
・特別支援学校出願者	基礎となる小学校、中学校又は高等学校のいずれかの免許状

## 3 「自己推薦」について

項目ごとに簡潔な文章で記入すること。

「ICTを活用する能力」及び「英語力」については自身で判断すること。

岡山県教育庁教職員課のホームページにある「入力準備シート」を活用ください。

## ■ 特別選考調書<様式ア>(P.20) ※7 特別選考試験のうち、A、B、D、E、F、Gで出願する者

1 ※印欄は記入しないこと。

2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。（例）特別選考A①の場合は、「A①」と記入

3 I・II欄、【大学担当者の証明】欄について

### (1) 特別選考A①[英語の資格による特別選考(中学校・高等学校の英語)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。

II 留学歴(海外の大学・大学院等への留学歴)など、英語に関してその他特記すべき事項を記入すること。

### (2) 特別選考A②[英語を母語とする者を対象とした特別選考]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び任用種別(教諭、常勤講師、非常勤講師等)を記入すること。

II 何も記入しないこと。

### (3) 特別選考B[スポーツの実績による特別選考(中学校・高等学校の保健体育)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす大会名(開催年月)、成績を記入すること。

II 専門競技種目名、所属チーム名、資格(スポーツに関する資格(日本スポーツ協会公認資格等))、大学入学以降の主な競技歴(国際レベルの大会又は全国規模の大会について、その大会名、成績、役職、ポジション、その他特記事項)を記入すること。

### (4) 特別選考D①[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の工業)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)、公立学校(実習助手に限る。)における工業(出願する分野)に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 工業の教諭普通免許状を有しない場合は、工業(出願する分野)に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

### (5) 特別選考D②[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の看護)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)としての勤務歴について、勤務先及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 看護の教諭普通免許状を有しない場合は、看護に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

### (6) 特別選考D③[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の農業)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)、公立学校(実習助手に限る。)における農業に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 農業の教諭普通免許状を有しない場合は、農業に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

### (7) 特別選考D④[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の情報)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)における情報に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 情報の教諭普通免許状を有しない場合は、情報に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

### (8) 特別選考D⑤[民間等のキャリアによる特別選考(中学校・高等学校の英語)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)における日常的に英語を使用する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。また、特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。

II 英語の教諭普通免許状を有しない場合は、英語に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

- (9) 特別選考E①[教職経験者を対象とした特別選考(本県教職経験者)]の場合
- I 特別選考試験の出願要件を満たす、本県の公立学校の教諭等又は養護教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。なお、現に県外の公立学校の教諭又は養護教諭(いずれも正規教員)の職にある者については、現任校も含めて記入すること。
- II 何も記入しないこと。
- (10) 特別選考E②[教職経験者を対象とした特別選考(現職教員)]の場合
- I 特別選考試験の出願要件を満たす公立学校の教諭等又は養護教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴(現任校を含む。)について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。(育児・病気等による休業がある場合はその旨も記入すること。)
- II 何も記入しないこと。
- (11) 特別選考F[「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]の場合
- I 何も記入しないこと。
- II 「教師への道」研修で学んだことや感想を記入すること。
- (12) 特別選考G[「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]の場合
- I 特別選考試験の出願要件を満たす、理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築プログラムの履修大学名、履修(予定)期間を記入すること。
- II 何も記入しないこと。
- 【大学担当者の証明】 出願時に修了見込みの者は、現在履修中の大学担当者が作成したものを提出すること。

■ 特別選考調書<様式イ>(P.21) ※7 特別選考試験のうち、Cで出願する者

- 1 ※印欄は記入しないこと。
- 2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。(例) 特別選考C①の場合は、「C①」と記入
- 3 【講師経験】欄及び【所属長の推薦】欄について
- (1) 特別選考C①[講師経験者を対象とした特別選考(前年度第1次試験合格者)]の場合
- 【講師経験】 受験者本人が、岡山県の公立学校等における令和3年4月1日から令和5年5月12日までの勤務歴について、勤務学校名、在職期間(年月日)、在職年数及び任用種別(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員、臨時学校栄養職員、非常勤講師)を記入すること。
- 【所属長の推薦】 現在の勤務校又は令和5年4月1日から令和5年5月12日までの間に所属した直近の勤務校の所属長が記入・押印する。
- なお、任用(予定)期間は、実際の任用予定期間(例:令和5年4月1日から令和6年3月31日)を記入する。
- (2) 特別選考C②[講師経験者を対象とした特別選考(経験年数)]の場合
- 【講師経験】 受験者本人が、岡山県の公立学校等における平成31年4月1日から令和5年5月12日までの常勤講師等(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員)及び臨時学校栄養職員(常勤に限る。)としての勤務歴について、勤務学校名、在職期間(年月日)、在職年数及び任用種別を記入すること。
- 【所属長の推薦】 現在の勤務校又は令和5年4月1日から令和5年5月12日までの間に所属した直近の勤務校の所属長が記入・押印する。
- なお、任用(予定)期間は、実際の任用予定期間(例:令和5年4月1日から令和6年3月31日)を記入する。

(記入例) C②の場合

勤務学校名	在職期間						在職年数	任用種別	
	年	月	日	年	月	日			
〇〇市立△△小学校	R1	5	25	～	R2	3	31	0年 11月	常勤講師
岡山県立〇〇支援学校	R2	4	1	～	R4	7	25	2年 4月	実習助手兼講師
岡山県立〇〇高等学校	R5	4	1	～	R5	5	12	0年 2月	常勤講師
							合計	3年 5月	